

1. 里山林

湿地



雑木林



田畑や草原



里地・里山

照葉樹の社叢林



里山の森は人の生活に利用されてきた

燃料：薪、炭、柴…

用材：スギ、ヒノキ、竹、ツル…

食料：獣肉、キノコ、山菜、木の実…

医薬：薬草

家畜の飼料、肥料など

しかし S40 年代以降は利用されなくなった

(石油燃料、安い外国産木材、化学肥料などに変化)

森は放置すると暗い森になって行く

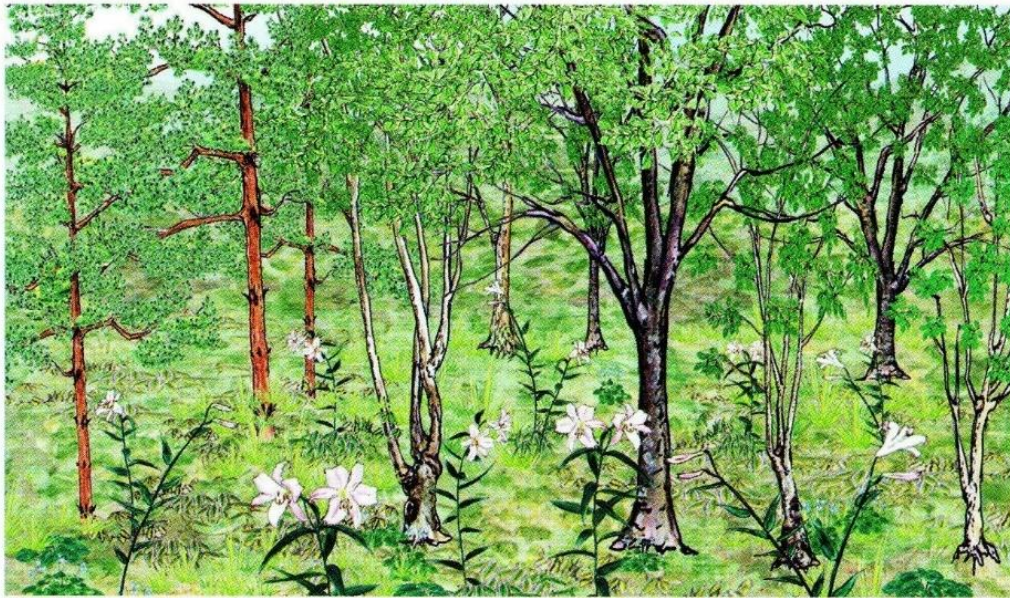


2. 里山の森は人が利用(手入れ)して維持されてきた



暗い森には生き物が少ない

明るい森にすると



色々な生き物が
住むようになる



昭和 30 代の交野山



写真:「枚方交野 100 年史!」から

植林作業(泉南市)

はげ山となっている所に植林をしている所(頂上付近にいるのは人)



写真:大阪府「大阪の森を知ろう!」から

3. 里山の森は人が作ってきた

4. 現在の森の様子と課題



① ササの繁茂や常緑樹の台頭で暗くて繁雑な森になっている

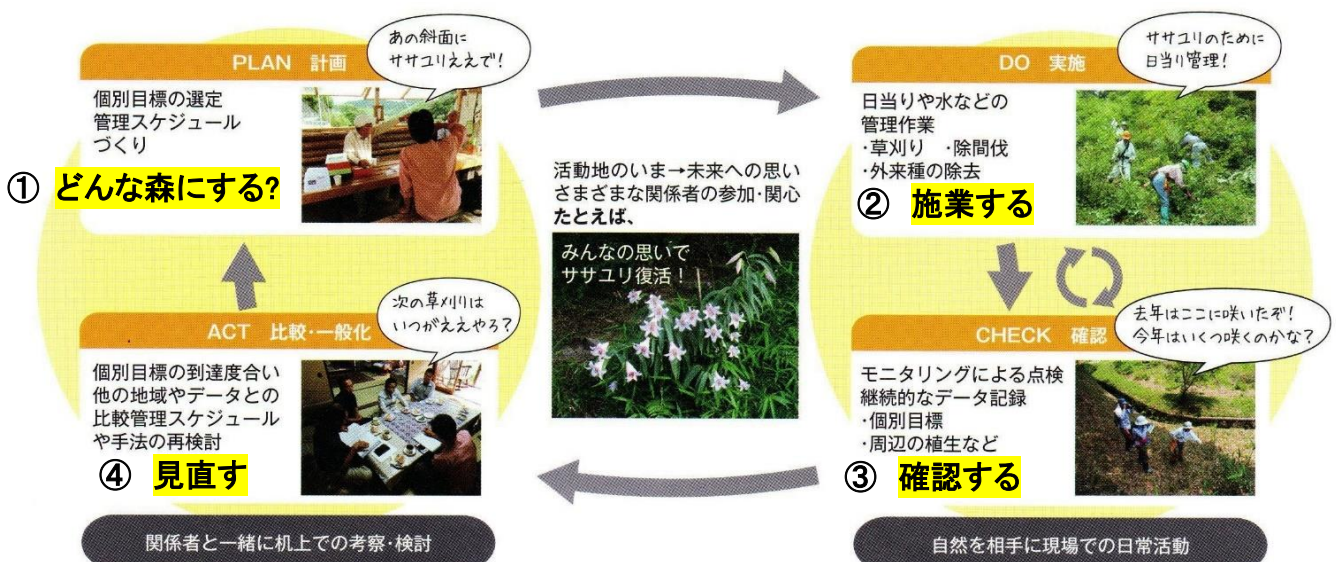


ナラ枯れ



竹林の侵食

② 森の手入れが必要になっている



5. パークレンジャーの森林整備活動の目的

- ① 明るい綺麗な森にして色々な生きものが住むようにする
- ② 活動を通じて整備技術を身に付け里山の大切さを伝える
- ③ 整備で出た材の利用を図る



雑木林の整備



ササ刈り



湿地の整備

2018.01.20



伐採の講習



材の利用でシイタケホダ木作り

6. 整備による季節の草花



ショウジョウバカマ



コバノミツバツジ



ミズバショウ



ササユリ



カタクリ



シイタケ

活動すると

- 自然の中で仲間と活動する楽しさ
- 綺麗な森になるのを見る達成感
- 色々な生き物と出会い発見する喜び
- 少しいただける成果物(シイタケや山菜)

ボランティアは、

- *楽しいから続けられる
 - *やりがいや生きがいを感じる
 - *仕事を離れた自己実現の場
- その結果が社会に役立てば良い